

中国電力も3割値上げ申請

家庭向け燃料高騰受け

中国電力は25日、家庭向けの規制料金を来年4月から、平均31・33%値上げすることを経済産業省に申請した。燃料価格の高騰を受け、電力各社は業績が悪化している。東北電力が24日に値上げを申請したほか、東京、北陸、四国、沖縄の4電力会社も近く申請する方針だ。

経産省が認可すれば、中国電力による値上げは1980年以来43年ぶりとなる。標準的な家庭（毎月の使用量260キロワット時）では、毎月の電気代が239

9円上がり1万428円になる。

値上げ幅の算定には、島根原発2号機（松江市）の再稼働時期を2024年1月末と織り込んだという。
（宮川純一、松田史朗）